

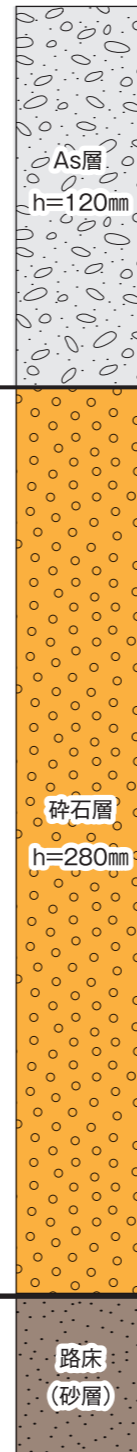
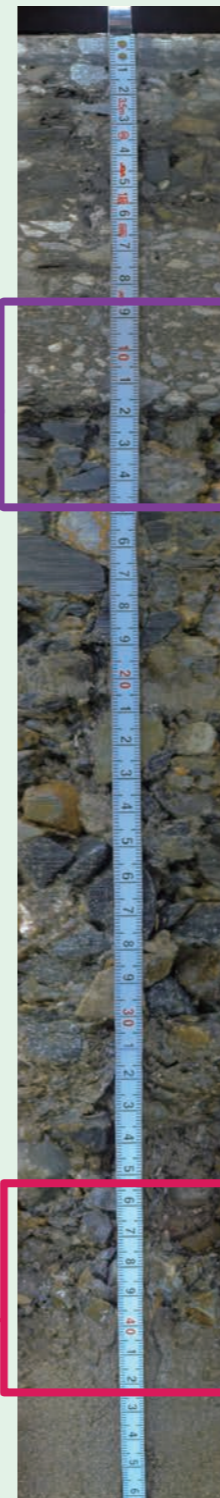
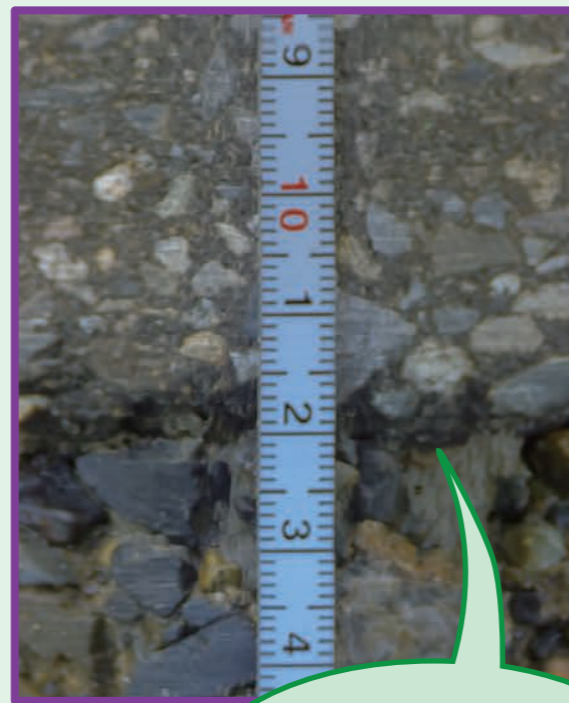
P-スコープ (PAVEMENT-SCOPE) ~小口径ボーリングによる舗装厚計測技術~

P-スコープによる調査

調査結果は同一

開削調査(従来技術)

調査はシンプルで簡単



わずか1㎡の開削調査でも…

掘削用重機や、埋戻し用機材及び埋戻し材料等の必要最小限の準備は必要です。



舗装各層の境界をハッキリと識別

早い "early"

日あたり6箇所の舗装調査が可能
— 従来技術は2箇所/日(当社標準実績)

安い "reasonable"

専用削孔機と専用スコープで実施
— 従来技術は舗装板切断カッター、バックホウ、トラック等が必要

安全 "safety"

φ70mmの穴を開け、作業車は1台のみ
— 従来技術は1㎡程度の開削を伴い、長めの規制が必要

正確 "exact"

各層間を専用スコープでミリ単位で撮影
— 従来技術と同一の精度を確保

現地
柱状図